

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道325号 <small>きよくし</small> 旭志拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	熊本県
起終点	<small>くまもとけんきくちしもりきた</small> 自：熊本県菊池市森北 <small>くまもとけんきくちくんおおづまちすぎみず</small> 至：熊本県菊池郡大津町杉水	延長	4.2 km		
事業概要：国道325号は、福岡県久留米市から山鹿市、菊池市を經由し、宮崎県高千穂町に至る全長150kmの主要な幹線道路である。旭志拡幅は、事業区間の慢性的な渋滞を緩和するための延長4.2kmの4車線道路である。					
H6年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H8年度用地着手	H10年度工事着手		
全体事業費	50億円	事業進捗率	66%	供用済延長	2.0km
計画交通量	20,200台/日				
費用対効果 分析結果	B/C： (事業全体)	総費用： (残事業)/(事業全体) 49/52億円	総便益： (残事業)/(事業全体) 103/110億円	基準年： 平成15年	
	(残事業)	(事業費：47/50億円 維持管理費：2/2億円)	(走行時間短縮便益：91/97億円 走行費用減少便益：9/10億円 交通事故減少便益：4/4億円)		
事業の効果等 ・円滑な物流の確保(第二種空港：熊本空港へのアクセス向上が見込まれる。) ・国土・地域ネットワークの構築(隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する。) 他3項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 特になし					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等：事業当初約13,500台/日(H2交通センサ)の交通量であったが、近年の交通量増加に伴い20,900台/日(H11交通センサ)と大幅な増加が見られ、当初事業区間外であった菊池市森北交差点では慢性的な渋滞が発生するようになった。					
事業の進捗状況、残事業の内容等：周辺環境の変化に対応するため、H15年度にL=0.6kmの事業区間の延伸を行い、旭志工区の事業効果が最大限発揮出来るようになった。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等：用地補償交渉が難航しているところもあるが、引き続き交渉を行い、平成19年度の全線完成供用を目指す。					
施設の構造や工法の変更等 特になし					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	『再評価監視委員会議論の概要及び付帯意見』国道325号は熊本空港方面と県北地域とを結ぶ重要な路線であるにもかかわらず、渋滞が著しいことから社会経済的損失は多大なものと思われる。このことから、事業期間の短縮に伴う効果を意識して、早急な4車線化の完成に努めること。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。